

2007年3月の東北地方の天候

【3月の特徴】

- ・寡照
- ・気温の変動が大きい

(1) 2007年3月の概況

この期間、低気圧や寒気の影響を受けたため、晴れの日が少なく日照時間は少なかった。新庄と酒田では月間日照時間の少ないほうからの1位の記録となった。上旬・下旬は日本海の低気圧に向かって暖かい空気が入り込むことが多く気温が高かったが、中旬は寒気が南下し冬型の気圧配置となる日が続いたため気温が低く、気温の変動が多かった。

月平均気温は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で高い。月降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で少ない。月間日照時間は、東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。月降雪量平年比は東北日本海側で99%と平年並、東北太平洋側で48%と少ない。

(2) 各旬の天候経過

上旬：前半は高気圧に覆われ晴れの日が多かった。5日は低気圧が日本海の北部で発達し、南から暖かい空気が入り最高気温が平年を10°C近く上回る高温となった。後半は、冬型の気圧配置となり東北日本海側は雪で東北太平洋側は晴れの日が多かった。

平均気温は東北地方でかなり高い。降水量は東北地方で少ない。日照時間は東北北部で平年並、東北南部で少ない。降雪量平年比は東北日本海側で56%と少なく、東北太平洋側で9%とかなり少ない。

中旬：冬型の気圧配置が続き、強い寒気が次々に南下した。東北日本海側は雪の日が多く、大雪となる日もあった。東北太平洋側は沿岸部を中心に晴れの日が多かった。

平均気温は東北日本海側でかなり低く、東北太平洋側で低い。降水量は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で平年並。降雪量平年比は東北日本海側で226%とかなり多く、東北太平洋側で124%と多い。

下旬：この期間、低気圧や前線の影響で曇りや雨または雪の日が多かった。また、日本海の低気圧に向かって南から暖かい空気が流れ込んだため気温の高い日が多かった。

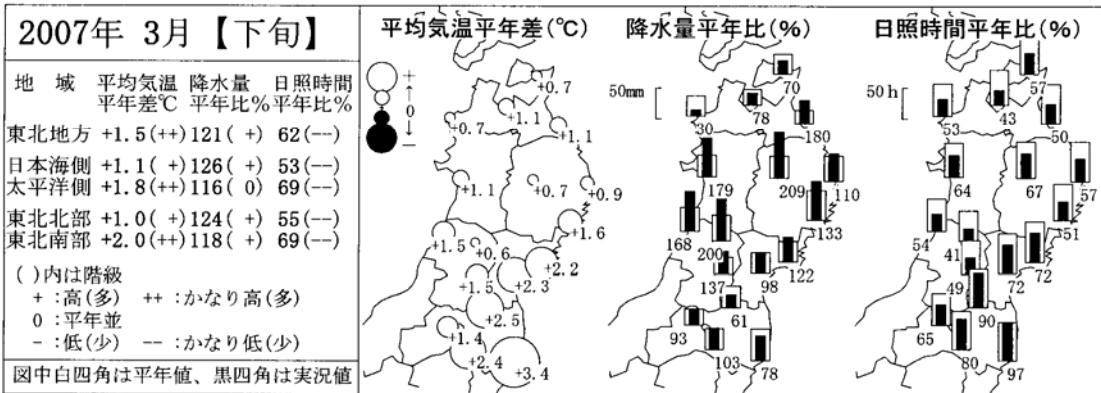
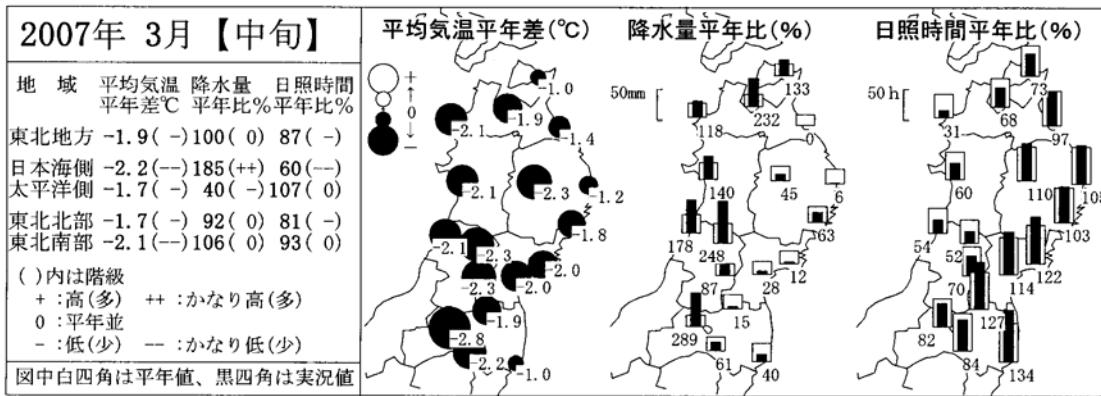
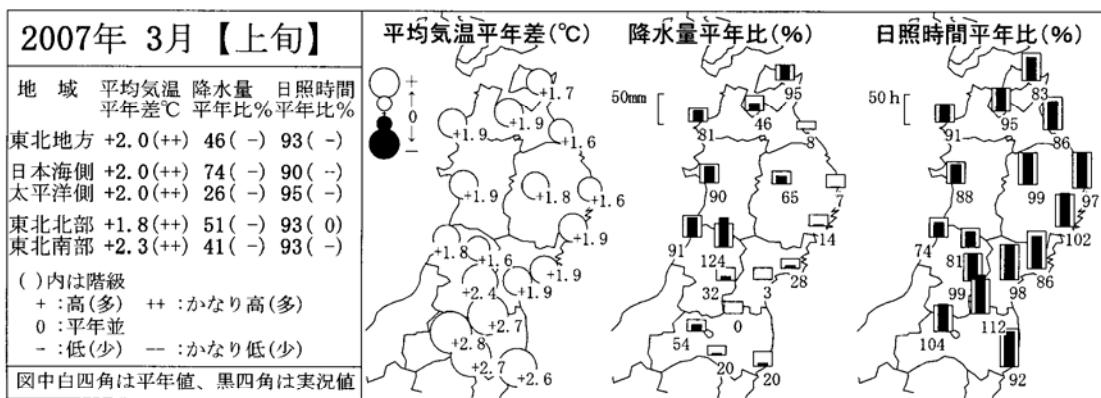
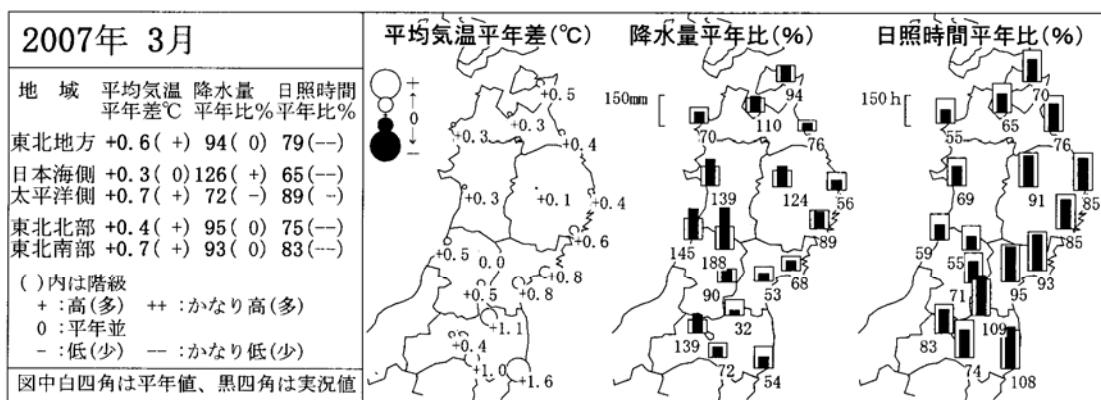
平均気温は東北北部で高く、東北南部でかなり高い。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北地方でかなり少ない。降雪量平年比は東北日本海側で5%とかなり少なく、東北太平洋側で26%と平年並。

注) 気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。
細分地域については2ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は1971-2000年です。階級区分については、3ページ目脚注2を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ先：仙台管区気象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

(3) 2007年3月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



注1) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

(4) 2007年3月の月気候表

地 点 名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)		階級	降雪深さ(平年値)		階級	最深積雪(平年値)		階級
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			(h)	(%)		(cm)	(cm)		(cm)	(cm)	
青 森	2.3	(+0.3)	+	76.5	(110)	○	18	91.8	(65)	-*	68	(97)	-	30	(84)	-
深 浦	2.9	(+0.3)	○	55.0	(70)	-	16	66.5	(55)	-*	16	(53)	-*	5	(27)	-
む つ	1.9	(+0.5)	+	72.5	(94)	○	16	107.5	(70)	-*	53	(95)	-	17	(52)	-
八 戸	2.7	(+0.4)	+	39.0	(76)	○	7	132.4	(76)	-*	5	(56)	-*	5	(17)	-
秋 田	3.5	(+0.3)	○	129.0	(139)	+	19	93.6	(69)	-*	53	(51)	○	10	(20)	-
盛 岡	1.9	(+0.1)	○	99.0	(124)	+	11	152.6	(91)	-	55	(60)	○	17	(20)	○
大 船 渡	4.1	(+0.6)	+	82.0	(89)	○	9	142.7	(85)	-	22	(13)	+	12	(6)	+
宮 古	3.4	(+0.4)	+	48.5	(56)	-	7	156.3	(85)	-	5	(47)	-*	4	(18)	-*
仙 台	5.3	(+0.8)	+	39.0	(53)	-	6	172.6	(95)	○	6	(15)	-	3	(7)	-
石 卷	4.5	(+0.8)	+	47.5	(68)	○	8	176.4	(93)	-	4	(11)	-	2	(9)	-
山 形	3.6	(+0.5)	+	60.0	(90)	○	13	104.3	(71)	-*	38	(71)	-	17	(27)	○
新 庄	2.0	(0.0)	○	210.5	(188)	+*	23	64.7	(55)	-*	193	(134)	+	52	(98)	-
酒 田	4.7	(+0.5)	+	150.5	(145)	+*	24	74.1	(59)	-*	65	(43)	+	13	(14)	○
福 島	6.0	(+1.1)	+	24.5	(32)	-*	4	195.7	(109)	+	10	(34)	-	4	(10)	-
若 松	3.4	(+0.4)	○	89.0	(139)	+*	14	115.9	(83)	-*	105	(74)	+	60	(28)	+
白 河	4.6	(+1.0)	+	51.5	(72)	-	8	134.9	(74)	-*	12	(32)	-	6	(10)	○
小 名 浜	7.8	(+1.6)	+*	57.0	(54)	-	5	202.8	(108)	+	0	(2)	-	-	(2)	-

(注) 1. 年平均値は1971～2000年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:年平均 -:低い(少ない)

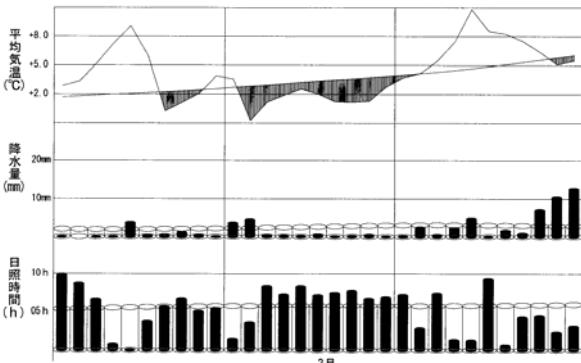
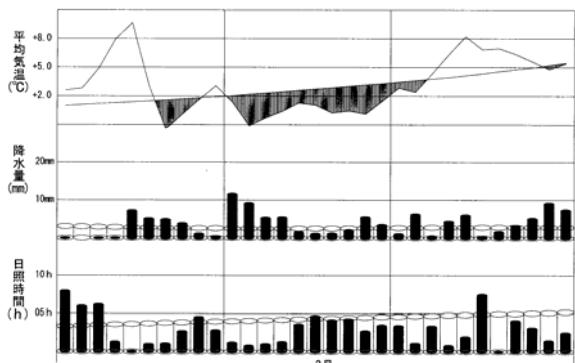
各階級の区分値は、1971～2000年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めた。

また、値が1971～2000年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に*を付加した。この場合には
かなり高い(多い) カなり低い(少ない)
と表現できる。

また「降雪の深さ」と「最深積雪」の「階級」は年平均値が1cm以上の場合のみ表示した。

3. 値の横に)や]がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。
)付きの値(準完全値)は通常のものと同様に扱うことができるが)付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。
なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

(5) 2007年3月の日別経過図



東北日本海側の日別経過図

東北太平洋側の日別経過図

気象官署の日別観測値と日別年平均値の地域平均(気温:実線と点線、降水量・日照時間:黒い円柱と白抜き円柱)

(6) 2007年3月の極値・順位の更新

(月平均気温、月降水量、月間日照時間、月降雪量の3位まで。)

月降水量多い方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 (西暦年)	開始年	平年値 mm
3	新庄	210.5	188	225.5 (1966)	1958	112.1

月間日照時間少ない方からの順位更新

順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最小 (西暦年)	開始年	平年値 h
1	新庄	64.7	55	81.3 (2000)	1958	117.2
	酒田	74.1	59	87.1 (2000)	1937	126.1
2	むつ	107.5	70	101.6 (1937)	1935	154.3
	八戸	132.4	76	128.9 (1955)	1937	173.8

降雪の深さ月合計値多い方からの順位更新

順位	地点名	降雪の深さ月合計 cm	これまでの最大 (西暦年)	開始年	平年値 cm
1	酒田	65	60 (1969)	1953	43
3	新庄	193	281 (1970)	1958	134

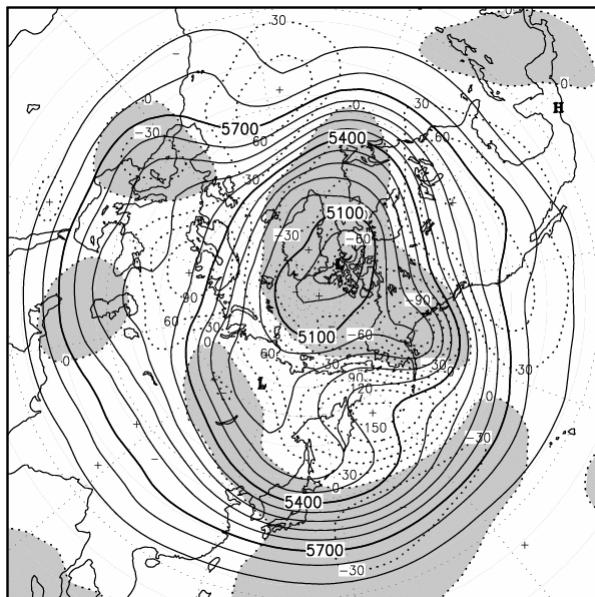
(注) 順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

値の横に]がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等、統計に用いなかった値が含まれている(資料不足値)。順位は更新順位以上になることは確実であるが、統計値の使用に際しては気候表に記載した統計日数を参照されたい。

平年値とは1971~2000年の30年間の値を平均したものである。

(7) 2007年3月の循環場の特徴

東シベリアからベーリング海にかけてはブロッキング高気圧に対応した強い正偏差があり、日本付近では負偏差となっている。このため、中旬は日本付近へ寒気が次々に南下し、東北地方は低温となった。一方、極付近は西半球側を中心に負偏差、西半球側の中緯度や東半球側の高緯度は正偏差となり、極の寒気は蓄積傾向。中旬を除いて寒気の南下は弱く、月平均としては高温となった。また、中旬の寒気や下旬の低気圧の影響で東北日本海側を中心に日照時間は少なかった。



2007年3月の平均500hPa高度

実線は等高度線：60m毎、点線は偏差：30m毎
陰影部は負偏差（寒気に対応）

(8) 東北地方の桜の開花状況 2007年

（統計期間：1953年～2006年：平年値は1971年～2000年）

観測地点	開花日					満開日				
	今年 (2007)	平年値	昨年 (2006)	最早/起年	最晩/起年	今年 (2007)	平年値	昨年 (2006)	最早/起年	最晩/起年
青森	4.26	5.01	4.14/2002	5.11/1984		5.01	5.06	4.16/2002	5.18/1984	
八戸	4.24	4.29	4.12/1990	5.18/1984		4.28	5.02	4.16/2002	5.23/1984	
盛岡	4.23	4.24	4.11/2002	5.06/1984		4.27	4.30	4.16/2002	5.09/1984	
宮古	4.20	4.23	4.08/2002	5.07/1984		4.25	4.28	4.13/2002	5.19/1984	
仙台	4.12	4.13	3.29/2002	4.28/1984		4.18	4.18	4.03/2002	5.03/1984	
秋田	4.19	4.21	4.07/2002	4.30/1984		4.24	4.26	4.12/2002	5.08/1965	
山形	4.17	4.18	4.03/2002	4.29/1984		4.21	4.23	4.06/2002	5.04/1984	
酒田	4.16	4.16	4.04/2002	4.27/1984		4.20	4.21	4.08/2002	5.02/1965	
福島	4.02	4.11	4.12/2002	4.25/1984		4.15	4.15	4.02/2002	4.28/1984	
小名浜	3.29	4.08	4.03/2002	4.25/1984		4.14	4.11	4.01/2002	4.29/1984	
深浦	---	4.26	---	4.13/1990	5.07/1984	---	5.01	---	4.20/1990	5.15/1984
むつ	---	4.29	---	4.19/1989	5.20/1984	---	5.03	---	4.22/1989	5.25/1984
大船渡	---	4.18	---	4.09/1989	5.01/1984	---	4.23	---	4.14/1990	5.07/1984
石巻	---	4.18	---	4.07/1989	5.03/1984	---	4.22	---	4.12/1990	5.06/1984
新庄	---	4.23	---	4.13/1990	5.06/1984	---	4.27	---	4.17/1990	5.11/1984
若松	---	4.16	---	4.07/1989	4.28/1984	---	4.21	---	4.11/1989	5.05/1965
白河	---	4.15	---	4.06/1954	4.28/1984	---	4.20	---	4.10/1990	5.02/1984

深浦以下の「最早」と「最晩」は1996年まで

深浦以下の「平年値」は1971年から観測終了年までの平均値を使用している

開花：標本木が5～6輪開花した状態

満開：標本木全体のつぼみの80%以上が開花した状態